

令和7年度 総合指針重点事業評価表

1 基本情報

重点事業名	健康づくり推進事業費	所管課 (旧所管課)	健康づくり課
まちづくりテーマ			
2健康で豊かな長寿社会をつくる			

2 施策概要・指標

事業目的及び必要性
市民の健康増進の総合的な推進に関し、市民の健康増進を図るための措置を講じ、保健の向上を図ることを目的に基礎自治体を実施することが健康増進法で定められている。健康づくりの知識や実践方法を習得し、自らの健康を守り育てる力をつけるため、地域に根差した健康づくり事業を推進することは、基礎自治体として必要な取組である。
2030年又は事業終了時の望ましい姿
個人それぞれが、世代や性別に合わせた健康的な生活習慣に取り組み、家庭や地域で支え合うとともに、企業や団体等が支える役割を持つことで、健康寿命の延伸と健康格差の縮小が図られている。
関連の深い「市民生活に関する意識調査結果」
① 健康づくりを支える環境が充実していると感じますか？
② 受動喫煙のないまちであると感じますか？

3 指標の推移

	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度
意識調査結果	①	点	3.03	2.97
	②	点	3.13	3.23

市民意識調査以外の市民ニーズの把握方法及びその内容
健康づくり推進会議、食育推進会議、歯科保健推進会議、タバコ対策協議会において、市民、特に就労世代や、子育て世代への普及啓発の強化、自然と健康づくりに取り組めるような環境整備等について意見を聴取した。また、藤沢市健康増進計画(第2次)及び第3次藤沢市食育推進計画の最終評価に係る市民アンケートを実施し、健康に関する意識や健康づくりの状況を集計・分析により把握した。
EBPMなど政策の立案や効果測定に必要なデータ等
糖尿病性腎症重症化予防保健指導プログラム実施評価データ、低栄養防止事業実施評価データ、国保データベースシステムにおける医療費・後期高齢者等健診結果・要介護認定状況データ、藤沢市健康増進計画(第2次)及び第3次藤沢市食育推進計画の最終評価アンケート結果
社会情勢等
今後、さらなる高齢者人口の大幅な増加や少子化が見込まれる中、国が2019年3月に健康寿命延伸プランを策定し、2040年の健康寿命の延伸に向け次世代を含めたすべての人の健やかな生活習慣形成、疾病予防・重症化予防や介護予防・フレイル対策等の取組を定めている。令和6年度から17年度までの12年を計画期間とする健康日本21(第三次)が策定され、全ての国民が健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現をめざし、新たな国民健康づくり運動が2024年4月から開始されている。
他市等の事例(本市の独自性があればその内容)
全国の市町村において、健康増進計画を策定し、健康寿命の延伸に向けた様々な事業を実施している。また、後期高齢者医療広域連合からの委託による高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施については、令和6年度までにすべての市町村で実施することが求められている。
把握した市民ニーズ、議会からの意見等への対応
ふじさわ歩くプロジェクトなど、就労世代、子育て世代をターゲットとした事業を実施するとともに、飲食店等と連携をした食環境整備や地域団体と連携した身近な地域における健康づくりに取り組んだ。

4 施策の評価

まちづくりコンセプトとの整合性とその理由		
まちづくりコンセプト	■ サステナブル藤沢	■ インクルーシブ藤沢
		■ スマート藤沢
健康都市宣言に基づき、住み慣れた地域で心もからだも元気でいきいきと暮らし続けられることを目指し、データを活用して地域の健康課題を把握するとともに、多様な主体と連携を図りながら、健康寿命の延伸と健康格差の縮小に向け取り組んでいるため。		
貢献する主なSDGsのゴール		
①	すべての人に健康と福祉を	
②	住み続けられるまちづくりを	
③		
関連する計画の有無(ある場合は計画の名称)		
有無	有	
健康増進計画(第2次)、第3次食育推進計画、国民健康保険データヘルス計画、いきいき長寿プラン2023		

令和7年度 総合指針重点事業評価表

1 基本情報

重点事業名	がん検診事業費	所管課 (旧所管課)	健康づくり課
まちづくりテーマ			
2健康で豊かな長寿社会をつくる			

2 施策概要・指標

事業目的及び必要性
健康増進法に基づく健康増進事業として位置付けられ、市町村が実施することとされている。がんが国民の生命及び健康にとって重大な問題となっている現状に鑑み、がんの予防及び早期発見の推進を図ることにより、がんの死亡率を減少させることを目的とする。診断と治療の進歩により、早期発見、早期治療が可能となってきていることから、がんによる死亡者数を減少するためには、がん検診の受診率を向上させ、がんを早期に発見することが極めて重要である。
2030年又は事業終了時の望ましい姿
各種がん検診の受診率が向上し、早期発見・早期治療がなされ、がんによる死亡者数の減少が図られている。
関連の深い「市民生活に関する意識調査結果」
① 定期的に検診や健康チェックを受けやすい環境が整っていると感じますか？
② 健康づくりを支える環境が充実していると感じますか？

3 指標の推移

	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度
意識調査結果	① 点	3.68	3.73	3.76
	② 点	3.03	2.97	2.99
市民意識調査以外の市民ニーズの把握方法及びその内容				
健康づくり推進会議の場を活用して、市民委員及び関係機関から幅広い意見をいただき、ニーズの把握に努めている。把握した内容を踏まえ、健康増進計画の記載内容等に反映させている。				
EBPMなど政策の立案や効果測定に必要なデータ等				
神奈川県衛生統計年報統計表の人口動態調査の死因(悪性新生物)による死亡数				
社会情勢等				
喫煙や不規則な食生活、運動不足などの生活習慣、社会環境からのストレス、高齢化など、がん罹患する要因の増大に伴い、市民の生活習慣や健康に対する意識は高まっている。また、がん罹患するリスクを判定する新たな検査方法や薬品の開発、がん治療技術の発達など、がんによる死亡率減少に向けた取組が国、県、民間において進められており、将来的にはより簡易な検診による判定が実現する可能性がある。				
他市等の事例(本市の独自性があればその内容)				
・全国の市区町村で実施しており、国の指針を基本としているが、独自の検診を実施している自治体もある。・各健康保険組合でも独自の判断と基準で健康診断の中で実施している。				
把握した市民ニーズ、議会からの意見等への対応				
・乳がん・子宮頸がん検診について、令和3年度から実施している無料クーポン券での個別勧奨を継続実施し、受診率の向上に努めた。・胃がん検診(内視鏡)について、対象となる70歳以上の自己負担額を令和5年度から無料とし、受診率の向上を図った。				

4 施策の評価

まちづくりコンセプトとの整合性とその理由		
まちづくりコンセプト	☐ サステナブル藤沢	☒ インクルーシブ藤沢
	☐ スマート藤沢	
指定医療機関でがん検診を実施することで、がんの早期発見、早期治療に結びつけるとともに、藤沢市医師会と連携を取り受診率向上などの課題解決に取り組むことで、健康寿命日本一を目指す。		
貢献する主なSDGsのゴール		
①	すべての人に健康と福祉を	
②	住み続けられるまちづくりを	
③	パートナーシップで目標を達成しよう	
関連する計画の有無(ある場合は計画の名称)		
有無	有	
健康増進計画(第2次)		

令和7年度 総合指針重点事業評価表

1 基本情報

重点事業名	感染症対策事業費	所管課 (旧所管課)	健康づくり課・保健予防課
まちづくりテーマ			
1安全で安心な暮らしを築く			

2 施策概要・指標

事業目的及び必要性
公衆衛生の向上及び増進を図ることを目的として、県及び保健所設置市が、感染症の発生を予防し、まん延の防止を図るために実施することが法令で定められている。
2030年又は事業終了時の望ましい姿
感染症の脅威から市民の生命と健康が守られている社会。また、平時からの感染症対策を推進し、新たな感染症危機が発生した場合においても、迅速に対応できる体制が構築されている。それにより、市民の生命と健康を保護し、市民生活等に及ぼす影響が最少となるようにする。
関連の深い「市民生活に関する意識調査結果」
① 新型コロナウイルス等の感染症対策ができていると感じますか？
② 保健、医療、福祉、健康などの生活環境が整い、暮らしやすいこと

3 指標の推移

	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度
意識調査結果	① 点	3.45	3.37	3.21
	② 点	3.55	3.58	3.66

市民意識調査以外の市民ニーズの把握方法及びその内容

医師会、県、他の保健所設置市等関係団体との連携による感染症に関する情報共有。

EBPMなど政策の立案や効果測定に必要なデータ等

社会情勢等

新型コロナウイルス感染症については、令和5年5月8日から感染症法上の位置付けが5類感染症となり、新型コロナウイルスワクチン接種については、令和5年度までは予防接種法に基づく特例臨時接種として実施してきたが、令和6年度からはインフルエンザ等と同様、同法に基づく定期接種として実施。

他市等の事例(本市の独自性があればその内容)

把握した市民ニーズ、議会からの意見等への対応

国及び県が新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえ、新型インフルエンザ等対策行動計画を全面的に改定したため、本市の新型インフルエンザ等対策行動計画についても改定を行う。

4 施策の評価

まちづくりコンセプトとの整合性とその理由

まちづくりコンセプト | ☒ サステナブル藤沢 ☒ インクルーシブ藤沢 ☐ スマート藤沢

感染症対策の強化は、市民の命と健康及び暮らしを守る取組であり、持続可能なまちづくりを行うことにつながる。また、国や県、市民、関係団体、事業者、医療・福祉従事者など多様な主体とのパートナーシップにより、感染拡大防止のための様々な取組を進める。

貢献する主なSDGsのゴール

①	すべての人に健康と福祉を
②	パートナーシップで目標を達成しよう
③	

関連する計画の有無(ある場合は計画の名称)

有無 | 有 |

藤沢市感染症予防計画藤沢市新型インフルエンザ等対策行動計画